

◎九州総合通信局長表彰

電波の日表彰受賞者（2 個人・1 団体）

中村 隆英 様

（元佐賀県電波適正利用推進員協議会会長）

長年にわたり佐賀県電波適正利用推進員協議会の会長として同協議会を牽引されるとともに、地元での電波教室の開催や周知啓発活動を積極的に取り組むなど、地域における適正な電波利用環境の保護に多大な貢献をされました。

松木 孝生 様

（元鹿児島県電波適正利用推進員協議会会長）

長年にわたり鹿児島県電波適正利用推進員協議会の会長として同協議会を牽引されるとともに、地元での電波教室の開催や周知啓発活動を積極的に取り組むなど、地域における適正な電波利用環境の保護に多大な貢献をされました。

一般社団法人熊本県猟友会 様

（代表：会長 高橋 重徳）

令和6年度「自営系移動無線システムの高度化に必要な技術的条件に関する調査検討」における構成員として、有益な電波活用に資するための実証試験を行うなど、電波技術の普及発展に多大な貢献をされました。

情報通信月間表彰受賞者（1 個人・1 団体）

前田 みゆき 様

（デジタル庁 プロジェクトマネージャー）

地域情報化アドバイザーとして地域におけるデジタルトランスフォーメーションの推進を支援するため、自治体情報システムの標準化・共通化に関する助言を行うなど、自治体における情報化の推進と人材育成に多大な貢献をされました。

宮崎県立宮崎工業高等学校 様

（代表：校長 中別府 勇治）

長年にわたり学校教育を通じ情報通信社会を担う工事担任者の育成及び輩出に尽力し、広く電気通信の発展に多大な貢献をされました。

「情報通信の安心安全な利用のための標語」（学校部門）九州総合通信局長賞

長崎県立島原高等学校 様

（代表：校長 渡崎 次郎）

標語『その写真 こうかいする前 確認を』

「情報通信の安心安全な利用のための標語」の公募において、熱心に取り組まれ優秀な作品を創作されました。これは児童生徒における情報通信の適正な利用及びデジタル社会の発展に大きく貢献をされました。

◎九州電波協力会長表彰

表彰受賞者（2 団体）

株式会社南日本放送 様

（代表：代表取締役社長 中野 寿康）

テレビ・ラジオによる番組「かごしま防災スイッチ」の製作・放送を通じ鹿児島県内の防災の現状や今後のあり方などを検証し、さまざまな災害から命をそして地域をいかに守るのかを考える取り組みにより、県民の防災意識向上に多大な貢献をされました。

九州漁業無線協会 様

（代表：会長 上竹 秀人）

令和6年台湾地震による津波警報下の沖縄県漁業無線局に対して無線通信を代行する体制を構築のうえで、避難呼びかけを行い無線局職員の安全の確保を行うなど、災害時における通信確保に向けた取り組みに多大な貢献をされました。